

# 青山 駅前テレイン

全日本リレー大会 2008年12月7日 三重県津市東青山

何よりも交通の便が最良。  
電車から降りたら目の前が  
テレイン

2008年12月7日 三重県津市東青山  
全日本リレーオリエンテーリング大会

## 広々とした会場

近鉄大阪線「東青山駅」に隣接する『四季のさと』公園。植栽の階段を上ると広大な芝生広場が待っている。メイン会場までは4、5分。



東青山駅のプラットフォームに降りると、南に面した公園の植栽が歓迎するかのようになり、周りには、これから大会に向かう選手を奮い立たせるようにメタセコイアの樹木が立ち並んでいる。しかし、メイン会場までのユニークな数個のオブジェがエポックメイキングー!?



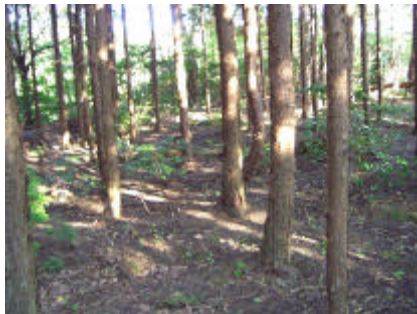
写真のオブジェの奥がメイン会場予定地

## 4 回目の三重県 BIG 大会

三重県 OL 協会はこれまで、1984 年に東日本大会（現在の津市河芸町）1993

年に全日本大会（伊勢の森）、1998 年に東海/西日本大会（東海道関宿）を開催してきており、今年全日本リレー大会開催で 4 大会を全て開催した協会となる。

今回の全日本リレー大会開催の打診があった時に協会役員の殆どが賛成し、テレイン選択が始まった。



テレイン内にある走行可能な林

## ニューテレイン登場

三重県 OL 協会内では既存の地図を再調査する形を提案する者と、ニューマップ作成を提案する者に分かれ、議論を重ねた結果、公平性を考慮し、調査の負担は掛かるものの、これまでに大会開催の無いエリアのニューマップを作る形で意思統一された。

場所選定にあたっては、白石島での全日本リレー大会のコースプランナー（木村佳司氏）のレポート『コースプランの裏側(1)』を大いに参考とした。



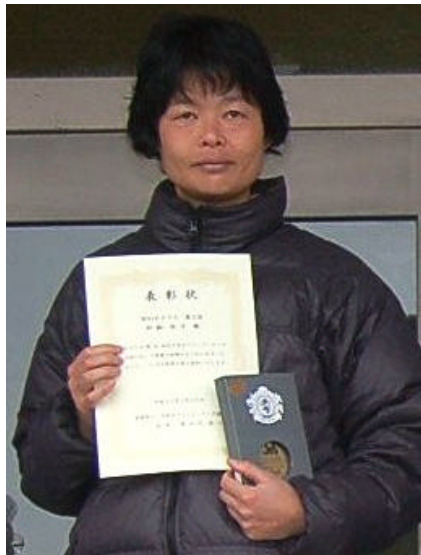
テレイン内にある林  
手前が走行可能、向こうは歩行可能

## 加納尚子コースプランナー

ご存じのとおり加納氏は女子エリート選手でもある。国内の大会参加や海外遠征に向けての合宿参加など多忙な中、合間をぬって過去 2 年間の全日本リレー大会の資料を参考に、5 月中旬からコースプランニングを始めた。

加納氏によると、難易度はできるだけ抑えて、全チームが規定時間内にゴ

ールできるような、スピードを重視したコース設定をするとのことだ。コースプランに際しても、白石島での全日本リレー大会のレポート『コースプランの裏側(2)』（木村佳司氏著）を参考にしている。



加納尚子

## 三重県協会初の GPS 調査

2007 年 11 月から GPS を利用した調査を開始し、延べ 18 日、92 時間をかけた。

三重県 OL 協会会員の中から、大会参加経験豊富な 8 人を選出し、エリアを分け 1 次調査を 4 月中旬までに行い、5 月上旬にコースプラン用の地図を仕上げた。GPS 調査も三重県では初めての試みで、機器は京都 OLC からレンタルし、技術指導は滋賀県 OL 協会の平島氏や大島氏にお世話になった。



テレイン内にある林  
地図上ハッチで示される倒木地帯

GPS による調査というと、全ての調査が効率よく短時間でできるのだと思っていたが、最初から上手くいくものではなく、取り扱いに慣れるまで数回かかり、山間部（特に谷間やうっそうと樹木の茂った森の中）では、GPS 機能に



必要な人工衛星の数(5個に設定)がなかなか揃わず、調査が停滞することも結構あった。

そんな時の調査結果は特に注意が必要だった。GPS調査といえども拾うポイントの位置に誤差が生じ、地図にデータを取り込んでみると、実際には登りばかりはずの小径なのに、曲がり角のポイントが誤差により、下っているよう表れてくることもあるからだ。



トレイン内にある林 通行困難の部分

## 愛知 岐阜も運営協力

三重県 OL 協会には、現在県庁 OLC、松阪 OLC、鈴亀 OLC の 3 クラブが加盟していて、みえスポーツフェスティバル大会やスポーツレクリエーション大会、中日東海カップリレー大会、亀山市民 OL 大会など、協力しあって開催している。

しかし三重県では、OCAD 導入は 1997 年頃から始まり地図作成の実績はあるものの、E カード導入は 2007 年 11 月から 1 年余りと経験が浅く、E カード使用大会開催としては今大会は 4 度目になる予定。ましてや、全日本大会となると三重県のスタッフだけでは経験者が少なく、また、リレーは初めてなので予想できないこともありそうなので、愛知、岐阜両県の OL 協会に協力いただくことになっている。

## テント持参にご協力を

今大会の欠点(弱点)は、悪天候時、全選手が避難できる場所となる既存の建物が無いことである。

一般の来園者のための休憩所や数か所の東屋があるだけで会場には全く無い。したがって、主催者側は会場内にテントを数張り用意する予定であり、また会場近くまで参加者の自家用車の乗り入れを認める予定でもあるが、参加各チームでマイテントを用意していただくことをお願いしたい。

その他、既存のトイレ(東青山駅の所と、公園管理事務所の所)も少なく、会場付近には仮設トイレを設置する予定である。



公園管理事務所(上)と遊具(下)



## 宿泊は周辺の温泉宿へ

会場周辺には近鉄大阪線「榊原温泉口駅」から約 6 km の所に榊原温泉宿がある。

このあたりの温泉は、ぬるぬるとしたなめらかな肌ざわりのお湯が特徴だ。泉質はアルカリ性単純温泉。豊かな湯量を誇り「美人の湯」として名高い。しっとり肌を包み込み、湯上りのさっぱり感がたまらない。

主な問い合わせ先

榊原温泉白雲荘予約センター

0120-919-264

湯元榊原館

土曜日 1 泊朝食付き 9600 円/人から

「じゃらん net コールセンター

0570-048944

また、テライン東エリアには「猪の倉温泉」が会場より約 4 km の所にある。泉質はアルカリ性単純温泉。

宿泊(1泊2食付き)1200 円人から、

日帰り食事(入浴料込)3500 円から、

入浴料大人 600 円

問い合わせ 059-262-5888

## 周辺の観光地

ループル彫刻美術館

近鉄「榊原温泉口駅」からすぐ

「パリ・ループル美術館」の本物の雰囲気味わえる建物。実物から直接型をとった有名作品

が約 1300 点展示されている。

入場料は 1500 円/大人【前売り券は 1000 円】、60 歳以上・学生は 1000 円/人

青山高原の風力発電用風車

青山高原の三角点は標高 756m、国道 165 号線を津市から伊賀上野方面へ向かい、青山トンネルを抜けてから左折し、高原道路へ。途中の駐車場からの眺めは素晴らしい。

ただし天気が良ければだが・・・。季節がらほるか遠くに富士山が見えるかも。高原道路を進んでいくと風車群が姿を現してくる。近づくにつれその風車の大きさに驚く。

なお東青山駅からのハイキングコースは大会当日まで立入らないください。



伊賀上野城

藤堂高虎により築城され、現在は当時の内堀と日本有数の高さを誇る石垣、昭和 10 年に建てられた天守閣が残っている。料金・・・大人 500 円



伊勢市おかげ横丁

内宮の門前町「おほらい町」の中ほどで、お伊勢さんの「おかげ」という感謝の気持ちを持って平成 5 年に誕生させたまちが「おかげ横丁」で、入場料といったものは無い。江戸末期から明治初期の風情をテーマに、伊勢路の代表的な建築物を移築、再現している。昨年、世間を賑わした「赤福」も、本店はこの横丁内にあり、伊勢の本店では時々お客様の列ができることはあっても品切れにはなっていないようだ。

(会場近くでは か 、少し足を延ばせるなら 、 も有りかな)

(三重県オリエンテーリング協会)